

水まわり・外まわり器具の取り付けについて

防湿型、防雨型器具の取付方法

■防水型器具の使用区分

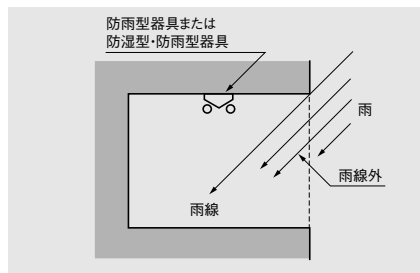
性能区分	使用場所
防雨型	ポーチ・軒下など雨の吹き込むおそれのある場所に使用できます。 防湿構造ではありませんので、浴室など湿度の高い場所では使用できません。
防湿型	浴室・洗面所など湿度の高い場所に使用できます。 防雨構造ではありませんので、ポーチ・軒下など雨の吹き込むおそれのある場所では使用できません。
防湿型・防雨型	ポーチ・軒下など雨の吹き込むおそれのある場所や、浴室・洗面所など湿度の高い場所に使用できます。

注) 業務用浴室やサウナなど常時高温・高湿度になる場所、振動の強い場所、温泉地など腐食性ガスが発生する場所、沿岸地帯など潮風による塩害地帯などでは使用できません。

注) 使用制限など詳しくは器具個別のページおよび承認図、取扱説明書をご確認ください。

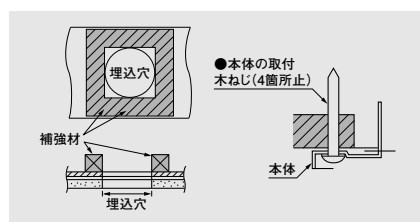
■雨線内で使用する場合

- 軒下・屋側通路などの雨線内でも雨水の降り込みなどで吸湿して絶縁不良になったり、反射板などが湿気で錆びたり、塗膜がはがれたりすることがありますので〈防雨型〉または〈防湿型・防雨型〉器具を必ずご使用ください。



※共同住宅、マンションなどの廊下も同じです。

■防湿型・防雨型ダウンライトの場合



- 浴室内に器具を施工する際には、あらかじめ埋込穴をあけて、そのまわりに補強材を渡す必要があります。
 - 目地および取付面の凹凸が大きい場合には、防水用シール材などで、本体と天井面との隙間をうめてください。
- ※アクアタイトシリーズは別途、取扱説明書をご参照ください。

■防水コンセント

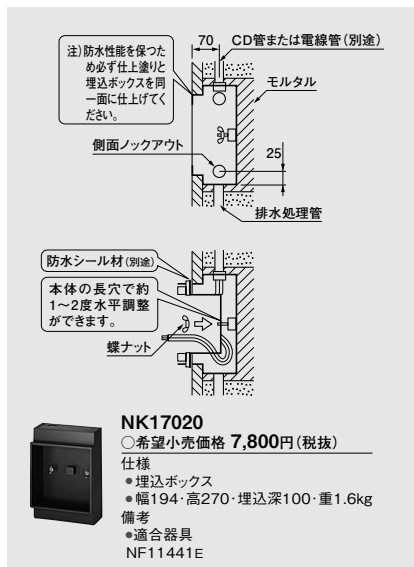
- 庭園灯などには、必ず防水コンセントをご使用ください。



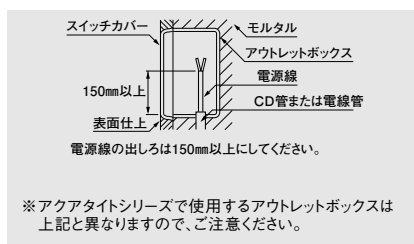
埋込灯の取付方法

■別売の埋込ボックス NK17020

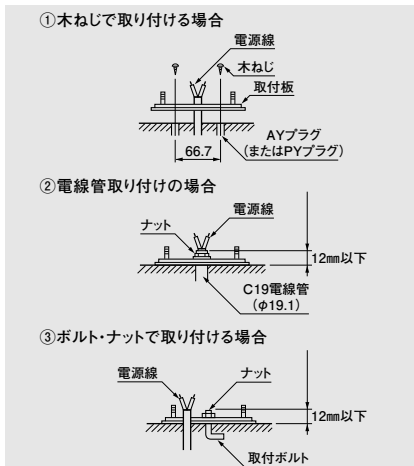
- ①壁面の仕上げを確認する。
 - ②蝶ナット(2個)で本体を確実に固定する。
 - ③防水シール材で本体と壁の隙間を埋める。
- 注) 必ずNK17020に同梱の取扱説明書もご覧ください。
注) ボックスへの電源線の配線は、上部および左右の穴を使用してください。

■アウトレットボックス取付専用タイプ
【湿式取付型(モルタルによる固定)】

- 壁の表面仕上げをする前に、アウトレットボックスとスイッチカバーを埋込施工してください。
- 〈アウトレットボックス取付タイプ〉
中型四角アウトレットボックス(DS3754)と中型四角スイッチカバー2コ用(DS4711)および5コ用スイッチボックス(DS4915)を別途お買い求めください。



■門柱灯



注) ボルトおよび電線管の出し高が取付面より12mm以上の場合、本体が取り付けできませんのでご注意ください。
注) 電線管は、取付面より5mm以上出しておいてください。